

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先 0282-22-7079(増田)

Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索



141号
2019年2月25日発行

山本有三が名づけた「文化の日」が、 「明治の日」？

元井 茂



永田町では国民の祝日 11月3日を「明治の日」に変更しようとする動きがある。現政権が掲げる「明治の精神に学び、更に飛躍する国へ」に向けた施策が、官邸と自民党を軸に明治150年の名の下に展開されていることと無縁ではない。この動向は、自民党が画策する憲法改正と軌を一にするものであることを私たちは気づくべきである。

「文化の日」の制定には、栃木市名誉市民である山本有三が、1948年参議院文化委員長の役職に在った時に、GHQの民間情報教育局（CIE）とのやりとりで、「憲法記念日は実施の日（5/3）より、公布の日（11/3）が適当」と具申したことに始まる。しかし、CIEは戦前の明治節（明治天皇誕生日）にあたり復古的な意図ありとして懸念を示した。それでも山本は譲らず、法制局長官入江敏郎の働き掛けもあって11月3日を「文化の日」とする意思を貫くことになった。その理由が正鵠を射た見解である。

山本は6月18日の文化委員会での説明で「（11/3は）憲法において如何なる国もまだやっとなかった戦争放棄ということ宣言した重大な日」とし、「日本としては、この日は忘れ難い日なので、是非ともこの日は残したい」と述べ、「自由と平和を愛し、文化をすすめる日」としたうえで、「文化的な憲法公布の日」である「文化の日」とすることを提言している。そして、山本の熱意はCIEを納得させるに至った。こうして11月3日は「文化の日」として暦に刻まれ、現在の日本国民の意識のなかに根づいている。明治節ではなく、自由と平和の「文化の日」として。

官邸と自民党が目論んでいることは、「明治の日」を制定することで「天皇を戴く国家」（自民党改憲草案前文）を、明治150年の諸企画を通してより強固に印象操作するところにあり、山本の平和憲法への想いを踏みにじるものでしかない。つまるところ、憲法改正のために「文化の日」を消去する企みというべきであろう。

私たちがやるべきことは何か。「文化の日」を実現した山本の想いを継承することではないか。改憲ではなく、自由と平和の日本国憲法こそが『真実一路』なんだと。戦争放棄を宣言した日なんだと。

…おしらせ…

・スタンディング

3月9日(土) 栃木市役所前

3月19日(火) イオン・カワチ交差点

※午後3時～約30分間

・とちぎ市民ネット集会

3月16日(土)午後1時半～午後4時 大平公民館

みんなの力で、改憲の動きにストップを掛けましょう。

朗読・DVD(憲法と自衛隊)視聴もあります。

※参議院栃木選挙区野党統一候補者が決定しましたらお迎えします。

・NHKプロデューサー塩田純氏 講演会

4月13日(土)午後1時半～午後4時 国府公民館

「日本国憲法はこうして生まれた～自由民権から新憲法へ～」

プロデューサーとして取り組んできたテレビ番組の中から、今回は日本国憲法と平和国家誕生についてお話をします。



いろいろな会の集會・映画の試写会に参加しました！

「9条の会・栃木」

二月三日、「9条の会・栃木」の集會が行われました。

午前中は「コスタリカの奇跡」の上映会、午後は総会と音楽会でした。総会では、今までの活動報告と今後の活動が討議されました。

安倍首相の改憲の動きに、「9条の会・栃木」は県民ネットワークに参加し、その中心として活動してきたこと。今後も、改憲阻止のため、今夏予定されている参議院選での野党統一候補の擁立・当選に力を尽くしていくこと。また、3000万人署名にも力を尽くすことが確認されました。

「県民ネットワーク」集會

二月十一日 弁護士会館で「県民ネットワーク」の集會が行われました。

ここでの主な議題は野党統一候補の擁立と参議院選への取り組みでした。政党頼みでなく会独自に活動することの大切さが語られました。

「あの日のオルガン」試写会

一月三十一日、「あの日のオルガン」の試写会に参加しました。本作は、太平洋戦争末期、日本で初めて保育園を疎開させることに挑んだ保母たちの実話を描く物語です。そんなことがあったことを知り、驚くとともに保母さんたちの思い

を描いたこの作品をみんなに見てもらいたいなと思います。



「憲法を歌おう」コンテスト 作品紹介！

大学生・社会人の部 金賞
坂巻 克巳 さん 71歳

「雑巾のように」

ワシの名前は「憲法」だ
古稀を過ぎてるジジイだが
まだまだカクシャク元気だぞ
大事にしてくれているあなた
神棚の上に祭り上げ
触りもせぬのはやめてくれ

どうしてほしいか聞かれれば
答えは簡単、雑巾だ
雑巾のように使うのだ
暮らしのすみずみ、国の窓
ゴシゴシ磨きをかけるため
毎日使ってほしいのさ

そちらの君はワシのこと
どうやら不満のようですな
邪険にされる身としては
ひとこと言わせてほしいのだ
ワシをどれだけ使ったか
案外使えるヤツですぞ

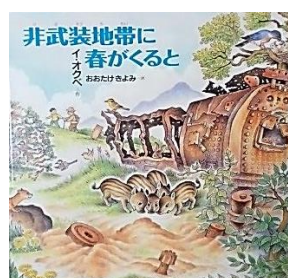
おすすめ絵本

「非武装地帯に春がくると」

韓国と北朝鮮の間には幅四キロの非武装地帯が横たわっています。春がくるとそこは草花があおおと芽ぶき、動物たちも集まってきました。でも人は入れません。

おじいさんが南の展望台にのぼり、北の空を眺めていました。夏も、秋も、冬も展望台からぼんやり北の空を眺めていました。

でもこんど春がきたら、もうおじいさんは展望台にのぼりません。鉄の扉が開いたのです。杖をついたおじいさんは孫に手をひかれて、あたたかい野原を歩んでいきます。そこはおじいさんの故郷だったのです。日中韓平和絵本の一冊。イ・オクベは朝鮮民族の夢を絵本にしました。



(郡司俊雄)

くららフェスタに参加します 3月17日

くららフェスタはくららを利用している各団体の発表の場です。太平山麓9条の会も、憲法に関する色々な資料の展示を企画しています。「憲法を詩おうコンテスト」の優秀作品の紹介、映画「コスタリカの奇跡」に関する資料も展示します。

いろいろな団体の展示や催しも楽しめます。気楽に足を延ばしてください。